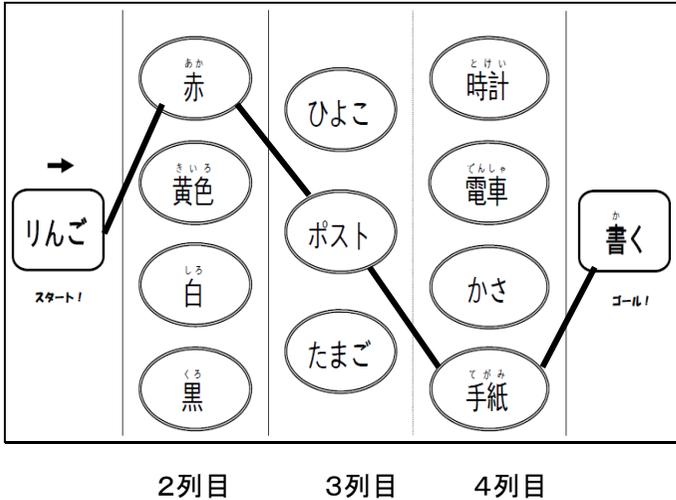


使用例 1

I 関係のあることばをつなげていこう

問題1



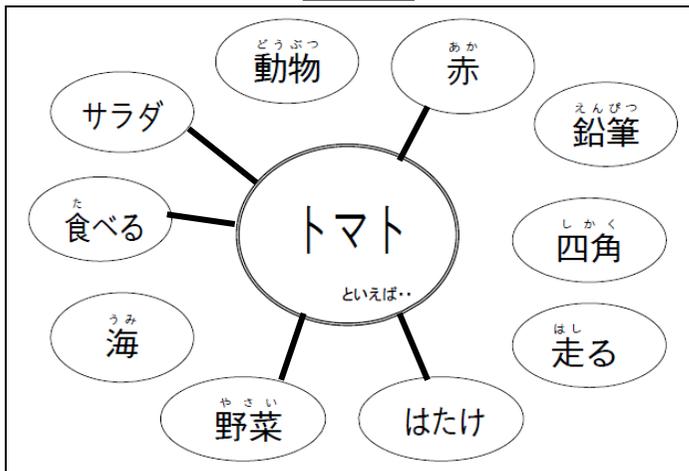
左はじに提示された語からスタートして、関係が深いと思われる語を、連鎖的につないで行く課題です。右はじの単語まで、線がつながってゴールです

左の問題1を例にとると、「りんご」と関係が深い「赤」を2列目から選びます。こんどは、「赤」と関係が深い「ポスト」を3列目から選び、さらに「ポスト」と関係が深い「手紙」を4列目から選びます。最後に「手紙」が、右はじに置かれている「書く」とつながって、ゴールになります。

注) 右はじの語から左向きには、関連語がつかない問題があります。左→右でつないでください。

II 関係のあることばをせんでむすぼう

問題1



中央の円に提示された語と、関係が深いと思われるものを、周りの10個の語から選び、線で結ぶ課題です

周りの10個の語のうち、5つが中央の提示語と関係が深い語として設定されています。(左の問題1を例にとると、提示語「トマト」に対して、「赤」「はたけ」「野菜」「食べる」「サラダ」の5語)

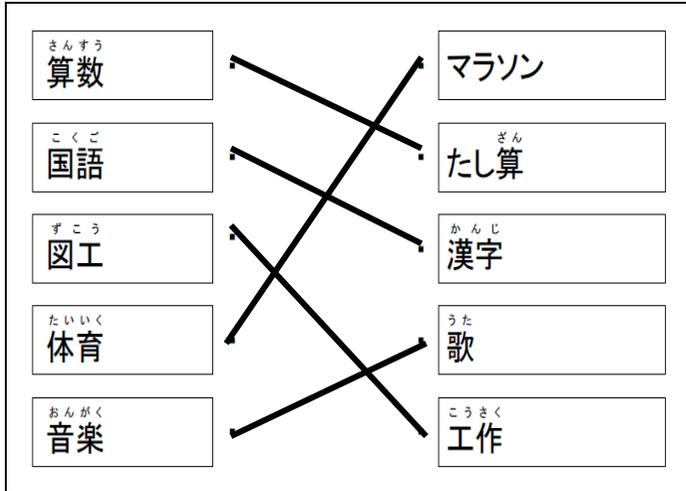
回答としては、関係の深い語として設定した5つを選ぶのが常識的ですが、それ以外の語を選んでも、子どもが理由づけできるのであれば、構わないと思います。選択数をあえて限定しなかったのもそのためです。

※選択数が決められていないと、課題が進めにくい場合は、指導者の方が、選択数を指定していただければと思います。

使用例 2

Ⅲ ことばのペアをつくろう

問題1



左列

右列

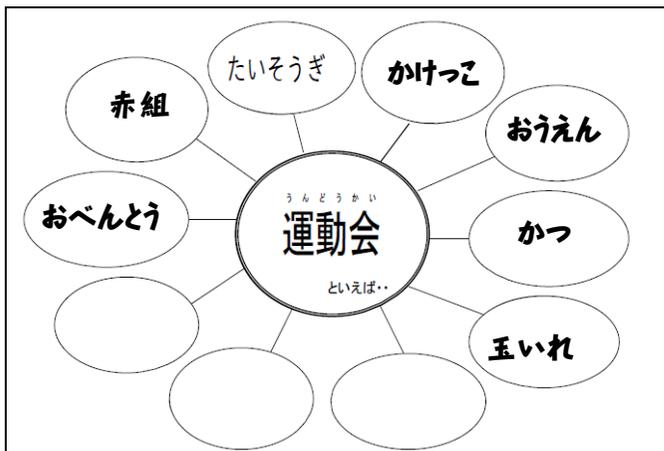
左列に提示された語と、関係の深い語を、右列の語から1つだけ選んで線で結び、ことばのペアを作る課題です。

左の問題1を例にとると、
算数:たし算、国語:漢字、図工:工作、体育:マラソン、音楽:歌 がペアとなります。

左右の列の語は、それぞれ同カテゴリ語でグループ化されています。
(左の問題1なら、左列が「教科」、右列が「学習内容」) カテゴリに対する気づきを促す目的もあります。

Ⅳ 関係のあることばをかんがえよう

問題1



※9語の列挙が大変な場合は、いくつかの空白を、あらかじめ埋めておいてあげると取り組みやすくなります。

中央の円に提示された語から、連想されることばを、9個挙げて、周りの円の中に書きこむ課題です。

左の問題1を例にとると、中央の提示語「運動会」から連想されることばを列挙します。各問題には、連想の手がかりとして、1語があらかじめ挙げられています。(問題1なら「たいそうぎ」)

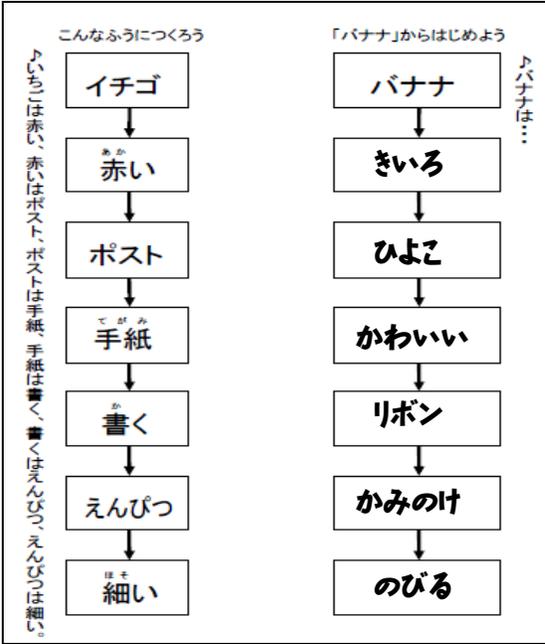
列挙した語に、正解・不正解はなく、子どもが、提示語から連想したものであれば何でもよいと思います。

ただ、「玉入れ」→「ボール」→「野球」のように、連続連想にならず、あくまで提示語からの自由連想の課題です。

使用例 3

V つづき歌をつくろう

問題1



左列のつづき歌(連続的連想)の例にならって、右列の1番上の語から、つづき歌を作る課題です。

左の問題1の連想のモデル例では、「バナナ」からスタートして、「きいろ」→「ひよこ」→「かわいい」・・・「のびる」、と連鎖的に連想をつなげています。

連想する語は、関係が推測されるものであれば何でも構いません。ただ、関係性が理解しにくい語を子どもが挙げた場合は、理由を確かめる必要があります。

連続連想が完了したら、(すなわち「つづき歌」ができたら)、左端の例のように、いっしょに歌ってみます。「♪バナナはきいろ、きいろはひよこ、ひよこはかわいい・・・」

VI さがしてみよう

問題1

| どうぶつ 動物 | くだもの くだもの | のりもの のりもの |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| ライオン それから... | りんご それから... | 電車 それから... |
| うさぎ さる きりん | みかん すいか なし | バス ひこうき ふね |
| <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> |

意味的な1条件(カテゴリー)を満たす語を、想起・列挙する課題です。

各問題には、3つのカテゴリーが提示されており、それぞれに1つずつ、代表的な語が、あらかじめ挙げられています。

想起する語の数は決められていませんが、できるだけ多くの語の想起を促します。独力での想起が乏しい場合は、指導者とかわりばんこに、想起してもよいと思います。

各問題の3つの条件は、「道具」「色」「形状」「感覚」などに、ある程度、テーマ化されています。

※用紙下段の6つのマスは、語想起が難しい子どもに、この課題を選択課題として取り組めるように設けたものです。マス目に、あらかじめ選択肢(例:動物名など)を書き入れて、上の条件の中に分類させます。

使用例 4

Ⅶ □のつくことばをさがそう

問題1

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| あ | か | あ | め | あ | り | | |
| あ | た | ま | あ | ま | い | | |
| あ | い | さ | つ | あ | ぶ | な | い |
| あ | り | が | と | う | | | |

※音数については、1モーラ(拍)を基本としています。
拗音(例:しゃ)は、1マスに書ければと思いますが、
解りにくい場合は2マスに分けても構わないと思います。

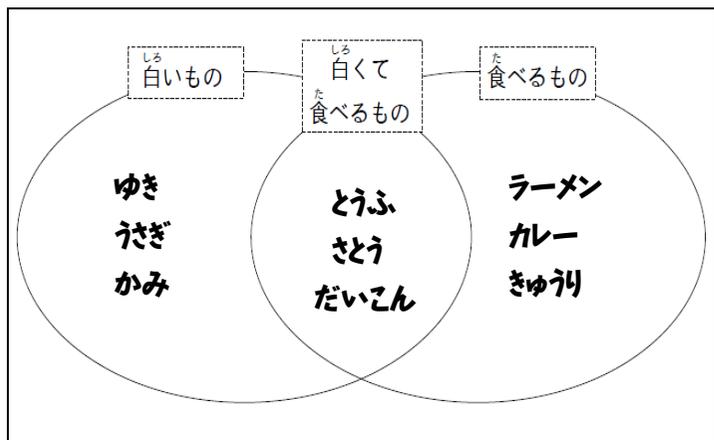
語頭音と音数という、2つ条件を共に満たす(クロス条件)語を、想起する課題です。

左の問題1を例にとると、「あ」から始まって、2音・3音・4音・5音の語を想起します。

想起する語は、「あのこ」とか「あとすこし」のような語であっても、意味をなしていれば、いいと思います、頭の中の辞書から、**語頭音×音数**の条件で、できるだけ速く、豊富に、ことばを検索できることが大切です。

Ⅷ どんなものがあるかな

問題1



※取り組み方としては、「白くて食べるもの」を想起した後に、その反例となる、白いもの(白くて食べないもの)、食べるもの(白くなくて食べるもの)を想起する方法と、白いもの、食べるものをそれぞれに列挙後に、クロス条件に該当するものを選び、中央に移動するという方法が考えられます。

左右の円に提示された1条件を満たす語を想起すると同時に、左右の条件を共に満たす(クロス条件)語を想起する課題です。

左の問題1を例にとると、左の円の条件「白いもの」を満たす語(「雪」「ウサギ」など)を想起します。つぎに、右の円の条件「食べるもの」(「ラーメン」「きゅうり」など)を満たす語を想起します。そして、2つの条件を共に満たす「白くて食べるもの」(「豆腐」「砂糖」など)を想起します。

各問題の左右の条件は、課題Ⅴの内容と重なっています。想起援助のために、この課題については課題Ⅴを終了後に行っていただければと思います。